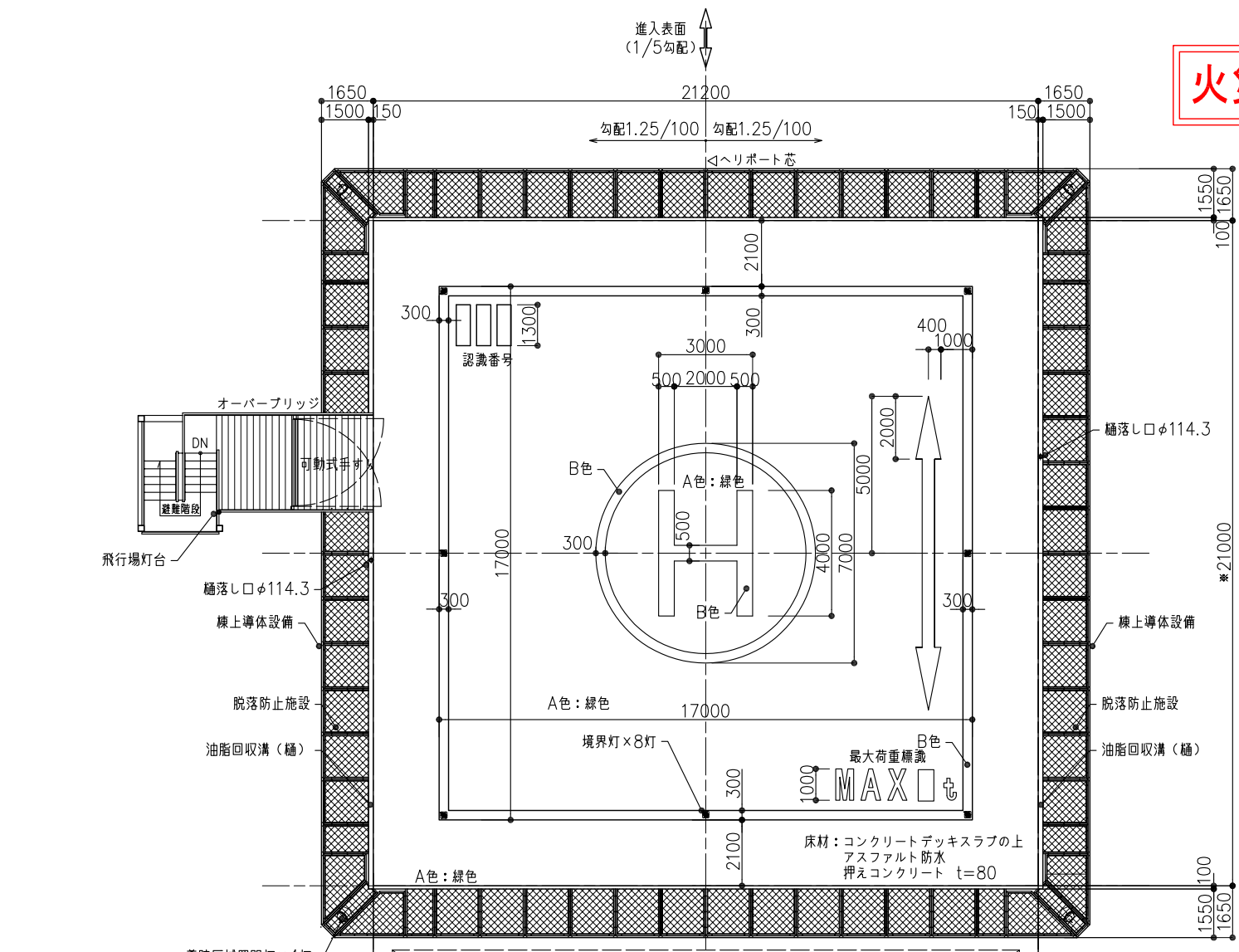
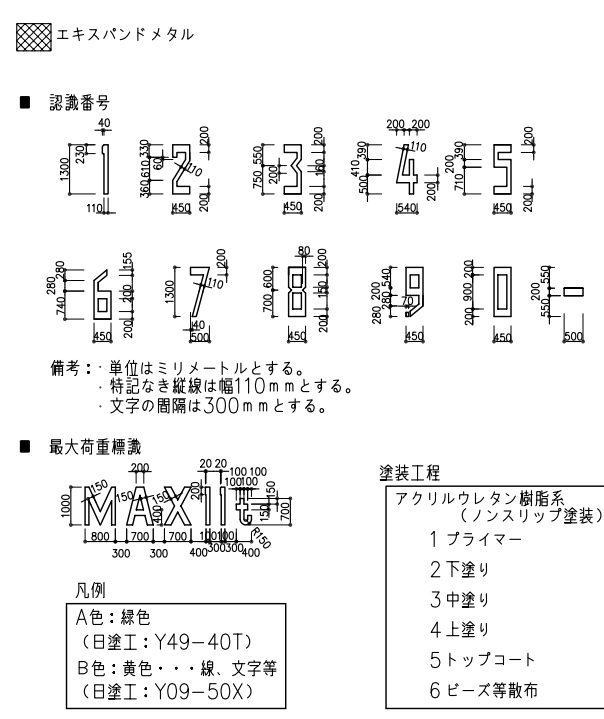


# 火災等の災害救助活動のみ利用



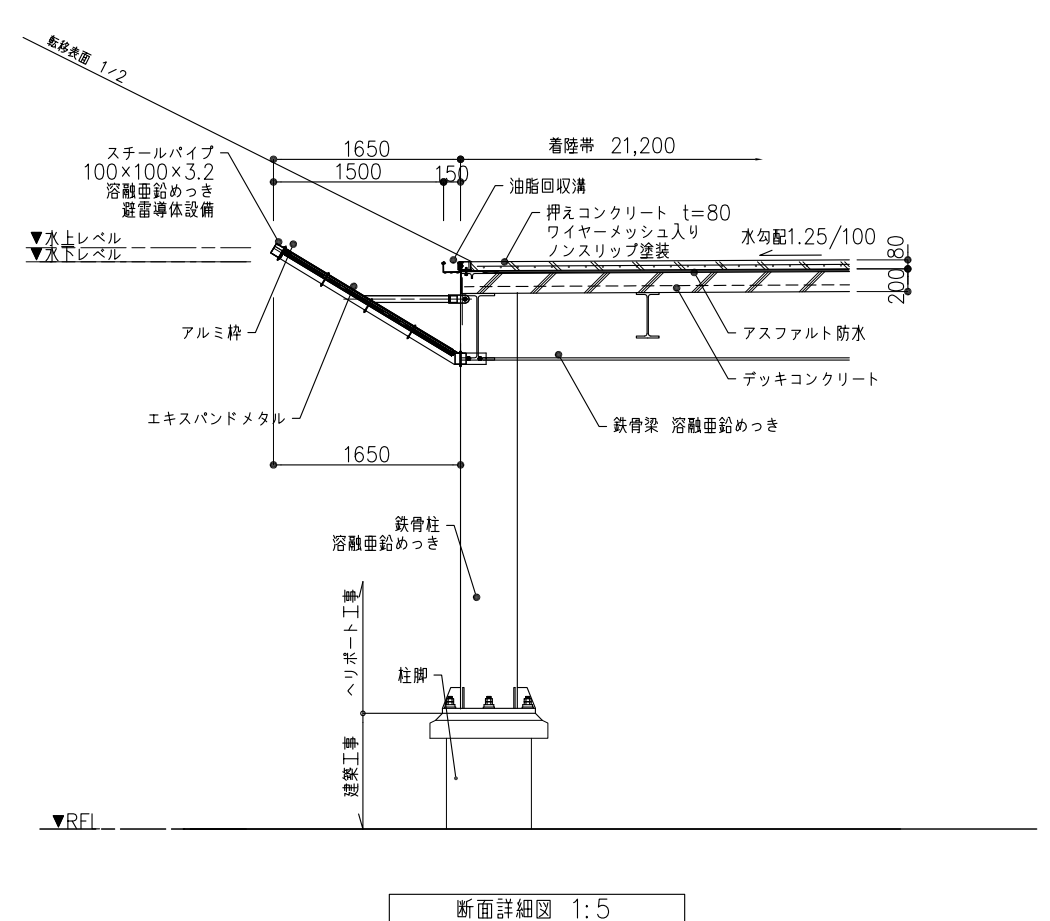
- 夜間照明必要個数
- | 凡例 | 名称            |
|----|---------------|
|    | 着陸区域照明灯       |
|    | 境界灯           |
|    | 飛行場灯台*消防指導による |
|    | ヘリポート照明制御盤    |
- \*航空障害灯は除く  
\*照明制御盤は防災センターと遠隔操作が可能な事  
\*インターホン設備が必要
- 待避標識表示内容(1250×350)
- 緊急用ヘリコプターが接近したら  
この場所に待避して下さい
- \*文字体は丸ゴシックとする。  
\*文字は75mm角とする。  
\*白地に赤文字とし、赤枠とする。

1. 待避場所の広さは、各自治体で確認の事。
2. インターホン 防災センターと連絡できるインターホンを離着陸帯の直近に設置の事。
3. 最終扉表示 屋上へ通ずる最終扉室内側に「緊急離着陸場」と表示の事。
4. 施錠方式 屋上へ通ずる最終扉は防災センターで遠隔解錠若しくは煙感知器と連動して解錠できる事。



1. 離着陸帯	大きさ ……20m×20m以上 構造 ……短期荷重10,750kg プラットフォーム型 表面 ……十分に平坦、滑り止め処置 ……最大縦断勾配 2%以下 標識 ……ライン、認識番号、「H」、矢印、最大荷重表示、施設名称 アクリルウレタン樹脂系塗料。 地の色: グリーン、その他: イエロー
2. 進入区域 及び進入表面勾配	進入表面勾配 ……着陸方向 1/5以下 同表面の上に出る高さの物件がないこと。
3. 転移表面	転移表面勾配 ……着陸方向 1/1以下 ただし各辺から外側にそれぞれ10mまでの 範囲内は1/2の勾配を有する表面上に出る 高さの物件が無いこと。
4. 脱着防止施設	大きさ ……出幅1.5m以上、手摺高さ1.1m以上
5. 燃料流出防止施設	溜枥(分離槽) ……1,000L以上
6. 待避場所	大きさ ……300㎡を標準として確保 標識 ……大きさ1,250mm×350mm以上
7. 消火設備	消火設備 ……消火器(強化液消火器8L以上)2本以上
8. 航空灯火	境界灯 ……離着陸地帯の境界線上に8基以上。 *着陸区域照明灯4基でも可。 飛行場灯台 ……周囲の状況から位置の確認が困難な場合に必要。 (航空白の閃光) *簡易式可 夜間照明点灯方式…防災センターからの遠隔操作方式とする。 非常電源装置 ……非常電源(連続4時間以上の継続供給が可能な 自家発電設備)を設置する。
9. その他施設	配線 ……耐火電線とすること。 インターホン ……待避場所の直近に防災センターと連絡できる 経路 ……待避場所が避難階段及び非常用エレベーターと 有効に通じていること。 最終扉表示 ……屋上へ通ずる最終扉の屋内側に「緊急離着陸場」と 表示すること。 施錠方式 ……屋上へ通ずる最終扉は、火災時に防災センターで 遠隔解錠できること。煙感知等の作動により連動して 解錠できる自動解錠装置等により、屋内側から 屋上側への避難を妨げないように容易に解錠できること。

\*消防局により基準が異なる場合がありますので、所轄消防署にご確認ください。



◎この図は、参考図です。設計条件、周辺環境等により着陸帯の大きさ、仕様等が異なります。この図を利用し問題が生じて弊社も責任を負いません。 問い合わせ先TEL:03-5402-6810 **SAMPLE**

東京都47920号一級建築士事務所	承認	特記	訂正	縮尺	図名	図面番号
エアロファシリティ株式会社	製図			A3版 1:200	緊急離着陸場(医療施設以外) コンクリート製	緊着-10
				完成年月日	図面名称	
				18.04.23	平面図	